

●専用ツール

			
品 名	サークルアタッチメント	サークルグリップ	サークルダイヤコア
品 番	CAT-45CA-W30	CAT-45CG	CAT-45DC-SDS

●テクノテスターRTシリーズ（接着力・付着力引張試験器）



新技術情報提供システム
NETIS
登録番号：KT-170007-VE

日本建築仕上学会認定

RT-1000LDII 最大荷重 10kN
2000LDII 最大荷重 20kN / **3000LDII** 最大荷重 30kN

特長

- ・荷重と変位を同時に測定可能
- ・内部メモリでデータ蓄積が可能
- ・小型、軽量
- ・最大値ホールド機能付き
- ・電源は乾電池

●補修材（推奨品）

コンクリート構造物の成形・目地充填・簡易補修用モルタル

削り成形が可能な
速硬性ポリマーセメントモルタル

うめ太郎

商品の
特長

- ・アクリル粉末樹脂を配合した
プレミックスモルタル
- ・専用容器に水を入れて
振るだけの簡単練混ぜ
- ・短時間で硬化可能



安心して暮らせる豊かな街づくりを目指して…

無断複写・転載禁止

サンコーテクノ株式会社

本社/〒270-0163千葉県流山市南流山三丁目10番地16

0120-350-514

受付時間 祝日を除く月曜日～金曜日 9:00～12:00/13:00～17:00

A210600AD

付着強さ試験に新提案



詳しい情報
はこちら



サークルアタッチメント



サークルグリップ



農研機構
(農村工学研究部門)

鳥取大学
(農学部)

共同研究

サンコーテクノ



新提案

角形から円形へ、新しい試験のかたち。 円形付着強さ試験の特長

▼一般的な付着強さ試験との比較

1

任意の深さかつ均一な切込み深さの確保が可能

専用コアドリル「サークルダイヤコア」にマーキングをして切込みを行うことで、任意の深さかつ均一な切込みができる。



【角形】
付着面積1600mm²
(40×40mm)



【円形】
付着面積1590mm²
(φ45mm)

2

貼付け時の固定が確実

ゴム製リング「サークルグリップ」を用いることで、貼付け作業時に円形付着治具「サークルアタッチメント」を試験位置からのズレや傾きなく固定できる。



【角形】
テープによる固定



【円形】
「サークルグリップ」
による固定

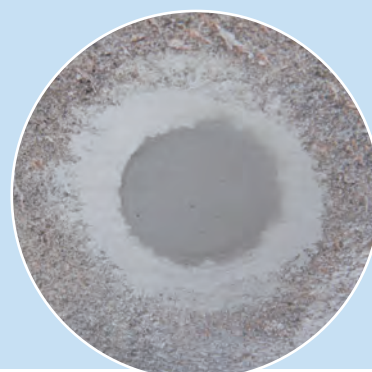
3

補修時間の短縮と補修後の景観性が良好

補修範囲が井桁状に広がらないため、補修時間を短縮でき、補修後の景観性も良い。



【角形】
補修範囲が井桁状



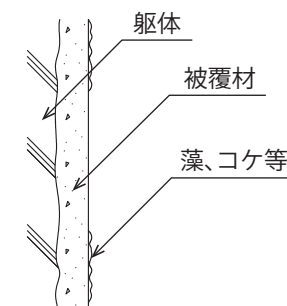
【円形】
補修範囲が円状

試験要領

1



素地調整

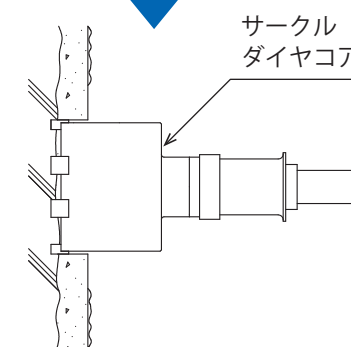


ディスクペーパー等で接着に支障をきたす藻、コケ等を除去する。

2



切込み

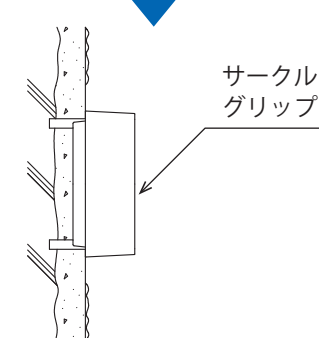


軽量ハンマードリルを回転モードにし、サークルダイヤコアで全周が躯体に達するまで切込みを行う。
サークルグリップの挿入長を確保するため、被覆材表面から最低6mmは切込みを入れる。

3



貼付け準備

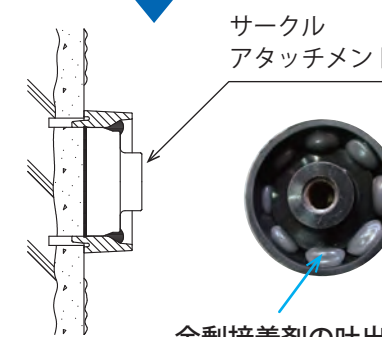


サークルグリップを切込みに挿入し、外周が被覆材表面に接地していることを確認する。

4



貼付け

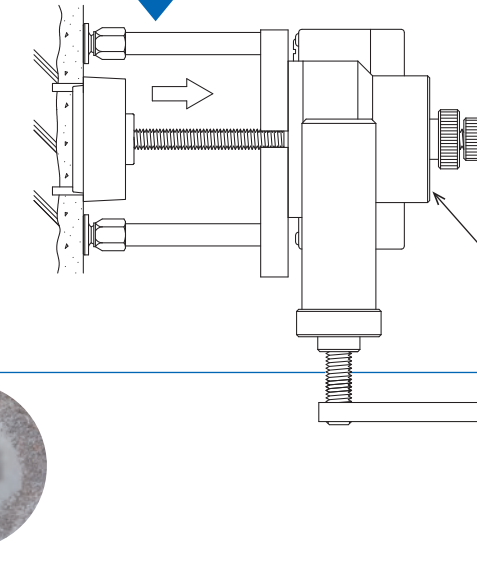


エポキシ樹脂系接着剤でサークルアタッチメントの貼付けを行い、硬化まで養生する。

5



試験



被覆材表面に対して垂直になるようにテクノテスターをセットし、試験を行う。



補修